

様式第6号(第17条)

会 議 録

会議の名称		令和7年度 第2回春日部市市民活動センター運営協議会	
開催日時		令和8年2月4日(水)	開 会 午前10時
			閉 会 午前11時30分
開催場所		春日部市市民活動センター 4階 会議室1	
議長(会長等)氏名		石塚 勝美	
出席者	委員氏名	(出席人数: 7人)	
		石塚 勝美、芦澤 弘子、勝谷 清一、並木 素生、斎藤 義男、 関根 信一、斎藤 修	
	説明者 その他	(出席人数: 2人)	
市民活動センター指定管理者 株式会社 コンベンションリンクージ 市民活動センター所長 小笠原 正人、アドバイザー 市川 潤			
事務局	事務局	(出席人数: 6人)	
		市民生活部長 飯口 信彦、市民参加推進課長 清水 一男、 市民参加推進課主幹 宮田 陽介、市民参加推進課主査 大貫 礼奈、 市民参加推進課主事 篠原 遼大、市民参加推進課主事 佐野 稜馬	
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		1. 開会 2. 報告 (1) 令和6年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」第三者評価結果 (2) 令和8年度以降の市民活動センターの運営について 3. 議題 (1) 令和7年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」運営状況について 4. 閉会 ※(すべて公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当:	
配布資料		次第 【報告資料】 (資料1) 令和6年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」第三者評価結果 (資料2) 春日部市市民活動センター 次期指定管理期間の管理運営計画	

	<p>【議事資料】</p> <p>(資料3) 令和7年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」実施事業一覧【4月～12月】(ぽぽら春日部からの報告資料)</p> <p>(資料4) 令和7年度「ぽぽら春日部」実施事業【4月～12月】課題と今後の対応に対する意見等(ぽぽら春日部からの報告資料に対して、市からの意見等を記載)</p>
会議録の作製方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録
会議録署名の指定	会長による署名

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	<p>【1. 開会】</p>
	<p>【2. 報告】</p>
議 長	<p>「(1) 令和6年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」第三者評価結果」について、事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>≪ 資料1に基づき説明 ≫</p>
委 員	<p>項目①の「担い手不足」の現状について伺いたい。また、項目③の「停滞している部分」についても具体的な説明をお願いしたい。</p>
指定管理者	<p>項目①の「担い手不足」については、市民活動を行っている方々の高齢化が進む一方で若い世代の参加が少ない状況にある。また既存の市民活動団体において後継者が見つからず、登録を削除するケースが増えている。</p> <p>項目③の「停滞」については、団体交流会は実施しているものの、その後の活動において交流やマッチングが実際に行われているかどうかの確認が十分にできていない現状がある。今後は、交流会後の状況把握やフォローを行うことで改善していきたいと考えている。</p>
委 員	<p>団体の担い手不足については、どこも同様の課題を抱えていると考える。団体の中心となっている方の高齢化により、活動自体が存続できなければ、若い世代が加入することも難しくなる。現状、自分たちの代で団体を解散・登録削除するケースが多いことから、若い世代を既存団体に加入させるような仕掛けをするだけでなく、新たに団体を結成するような仕掛けを増やしても良いのではないかと考える。</p>
委 員	<p>自分の周囲でも団体解散の話はよく聞くが、やむを得ない部分もあると感じている。そもそも高齢者が多い既存団体に若い人が加入することは難しく、若い方々が活動する場合は、別の団体を立ち上げる印象がある。</p>
委 員	<p>若い世代には、高齢者中心の既存団体とは別に団体を立ち上げるよう促すのが良いのではないかと考える。若い方が高齢者が多い団体に加入することには様々な壁がある。もちろん団体の活動内容によ</p>

	<p>っては既存団体に若者が加入するケースもあるだろうが、特にスポーツなどを楽しむ際は高齢者側からしても若い世代は別途団体をつくった方が良いと考える場合もある。</p>
委員	<p>近年の団体の高齢化は実感している。多くの高齢者が運転免許を返納し、活動に必要な道具を運ぶことが難しくなっており、団体の存続が厳しくなっている。また、団体の活動時間が平日の昼間であることも若い方が団体に参加しにくい要因の一つだと考える。</p>
委員	<p>働く世代に対して、いかに市民活動への参加を促すかが非常に重要である。週末や夜間に活動できる市民活動を提案したり、働きながら市民活動を行っている方の話をきける講座を開講するなど、工夫が必要である。</p>
議長	<p>大学の留学生などはボランティアには積極的である。若い世代が市民活動に参加しやすくなる工夫をしてほしい。</p>
議長	<p>「(2) 令和8年度以降の市民活動センターの運営について」事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>《 資料2に基づき説明 》</p>
委員	<p>方針①に記載されている「間口を広げて活動をサポート」について、具体的にはどのような取り組みを予定しているのか。</p>
指定管理者	<p>既存団体の高齢化が課題であると感じている。そのため、高齢者向けに限らず、若い世代が働きながら市民活動に参加できるよう、所管課と連携しながら取り組みを進め、登録団体数の増加を図っていきたいと考えている。</p>
議長	<p>大学などでは、障がいのある方やLGBTQ+への理解促進など、多様性への配慮が進んでいる。「間口を広げる」という観点から、そうした方々にも目を向けるべきではないか。</p>
指定管理者	<p>現時点では、そのような方々からの問い合わせは多くはないが、多様な立場の方が市民活動に参加できるよう促すことは非常に重要だと考える。その人ならではの課題意識をきっかけに団体を立ち上げるケースは多いため、今後重視していきたいと考える。</p>

委員	<p>関連して、様々な活動が可能であるという安心感を持てる施設にしていくことも重要である。市民のニーズによっては、宗教的なお祈りができる場所を整備すること等も検討して良いと思う。</p>
議長	<p>【3. 議事】 「(1) 令和7年度春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」運営状況について」事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>≪ 資料3・4に基づき説明 ≫</p>
委員	<p>ぽぽらフェスティバルにおける大学生の参加について、どのような経緯で参加していただくことになったのか。</p>
指定管理者	<p>いずれも、ぽぽら春日部を利用している際に声掛けを行ったことにより、参加が実現した。</p>
委員	<p>こどもライブフェスタの際には、多くの大学生の参加があった。その時のように大学生に声掛けを行い参加を促すことができれば、ぽぽらフェスティバルについても参加者の平均年齢を下げるができると思う。</p>
委員	<p>項目4の「大学との連携」について、具体的な大学名やお願いする内容などは決まっているのか。</p>
指定管理者	<p>現時点では漠然としている。今年度の事例としては、埼玉県立大学にスマホ講座の依頼を行った例がある。今後は、様々な大学に依頼を出していければ良いと考えている。</p>
委員	<p>大学側としては、具体的な内容を示したうえで依頼された方が、学生に周知しやすいと思う。どこの大学に、どういった内容で依頼をするのかは、あらかじめ決めておいた方が良いと思う。また、同項目の「企業との連携」について、具体的な企業は決まっているのか。</p>
指定管理者	<p>かすかべSDGsパートナーズに登録されている企業と連携していくことを検討している。同制度に加盟している企業は社会的活動を重視していると考えられる。社会的活動を行っている企業と連携することは、ぽぽら春日部の設置目的及び役割である「公益的な活動の推進」と合致する。</p>

委員	承知した。大学・企業いずれについても、具体的な内容をもって依頼する方が良いと思うため、検討してほしい。
委員	会議室の稼働率を上げるためにも、社会貢献活動を行っている企業が会議室を使用できるようにすることは可能か。
指定管理者	現在は、企業の社会貢献活動を行っているサークル等であれば、市民活動団体として会議室を使用することは可能である。ただし、企業として会議室を使用することはできない。
議長	以前は、企業活動と社会貢献活動は明確に分離されていたが、近年は両者が重なっている部分も多い。SDGS 関連の部署であれば会議室の使用を可能にするなど、柔軟な対応も視野に入れた方が良いかもしれない。
委員	項目 8 の情報発進方法について、多くの若者が利用している Instagram や Threads を導入しても良いのではないか。近年は Facebook を利用している若者は少ないと思われる。若者が利用している SNS で情報発信を行うことで、市民活動に若者を取り込むことにつながると思う。
指定管理者	導入について検討する。発信内容について、若者に対してはどういったものが良いか意見はあるか。
委員	短い動画で職員や団体へのインタビューを発信し、施設や団体について理解してもらうことが良いと思う。また、ハッシュタグを工夫することで、より多くの方々に閲覧してもらえるようになる。
指定管理者	発信する内容によってはリスクがある場合もあるため、内容については十分に検討したうえで、発信していきたい。
議長	項目 3 の市民活動講座について、文化・教養的な内容のものを増やしても良いかもしれない。
指定管理者	現在は登録団体の活動基盤強化を目的とした講座を実施しているが、今後検討していきたい。
議長	何か他に質問や意見はあるか。

委員	《質問・意見なし》 【4. 閉会】
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和8年2月13日 署名者の職・氏名 会 長 石塚 勝美</p>	